

中・後期の除草、 豆つぶ剤でカンタンに!

大きな田んぼは
ひしゃくで散布の

畦から撒くだけ
勝手に広がる!!



散布直後

散布60秒後

※写真は圃場での拡散試験です

水稲用
中・後期
処理除草剤

アトリ®

豆つぶ®250

有効成分:ピリミスルファン.....3.0%



豆つぶ250製剤
(実物大)



難防除雑草に
効果あり!



オモダカ
矢尻葉3葉期まで



クログワイ
草丈30cm以下



コウキヤガラ
草丈30cm以下



シズイ
草丈30cm以下



ノビエ
4葉期まで



水稻用 中・後期処理除草剤

特長

アトリ[®]

豆つぶ250

除草剤分類 2

人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）



- 1成分で多年生雑草に高い効果を示します。
- 初期剤や一発剤の取りこぼし、後発生の雑草防除に有効です。
- 4葉期までのノビエに高い効果を示します。
- 移植後14日～収穫45日前まで幅広く使用することができます。
- WCSにもご使用いただけます。
- 10a当り250gと軽量で、拡散性に優れた豆つぶ製剤です。

適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ノビエ、多年生広葉雑草	移植後14日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	250g	1回	湛水散布 または 無人航空機 による散布	2回以内
直播水稻	オモダカ、クログワイ	稲5葉期～収穫45日前まで				

豆つぶ剤の3つの特長

とにかく軽い

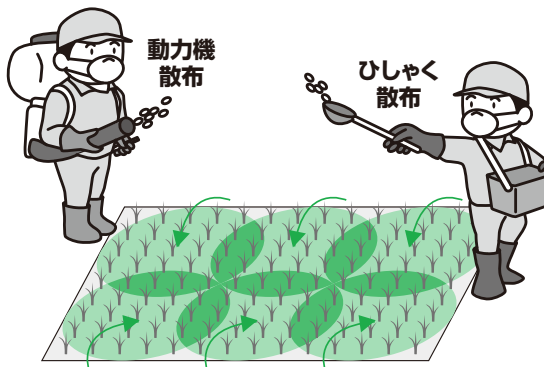
10a当りの使用量は、わずか250g。案に運ぶことができます。

田んぼに入らず散布可能*

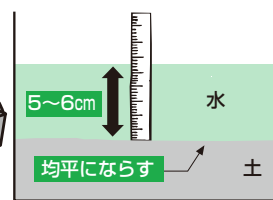
拡散性に優れるので、あぜから撒けばしっかり拡がる！
田んぼに入らなくても大丈夫です。
※短辺30mまで
※稲の生育状況などにより拡散の程度が異なります

作業時間が短縮できる

30a約3分で散布が可能。作業時間の短縮になります。



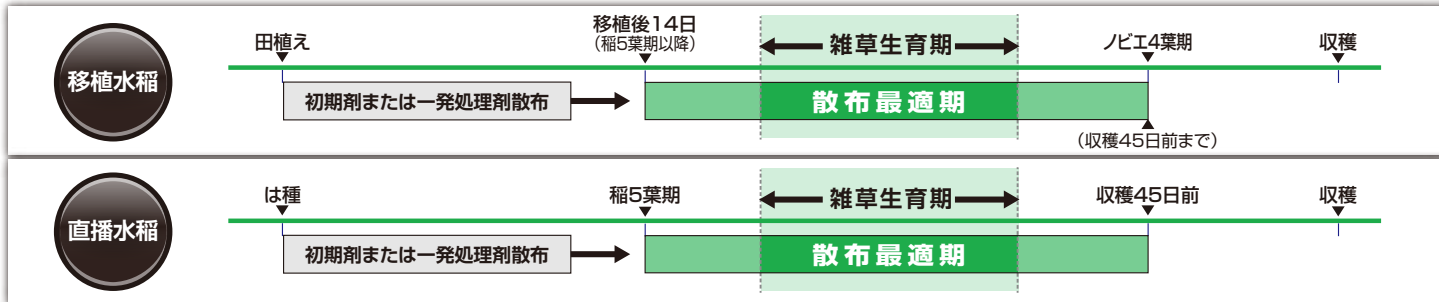
●豆つぶ剤を使用するときの注意



拡散に水が必要です。処理時の水深を深め（5～6cm）にしましょう。浅水で散布した場合、拡散不十分で効果が弱ってしまう場合があります。

上手な使い方

標準的な使用時期



■ 使用上の注意事項

- 対象草種以外の雑草を防除するため、田植前後に使用する土壌処理除草剤との体系で使用してください。
- ノビエの4葉期までに有効なので、時期を失しないように散布してください。なお、生育期に入った雑草に効果がありますが、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ミズガヤツリは7葉期まで、ウリカワは5葉期まで、ヒルムシロは発生盛期まで、セリは再生期まで、オモダカでは発生盛期から矢尻葉3葉期まで、クログワイ、シズイ、コウキヤガラでは草丈30cm以下が散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、シズイ、コウキヤガラに有効な前処理剤との組み合わせで使用することにより、より高い効果が得られます。
- 5葉期未満の稲に対しては、薬害を生じるおそれがあるため、使用をさしてください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、

- 入水は静かに行ってください。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は本剤の拡散が不十分になるおそれがあるので使用をさしてください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさしてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深が2cm/日以上)。
 - 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田。
 - 直播水稻に使用の場合は以下に注意してください。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさしてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
 - 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさしてください。
 - 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。

- 本剤は吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
 - 水源池、飲料用水等に飛散、流入しないように十分注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方

法などを誤らないように注意して使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

■ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 散布の際は、保護メガネを着用してください。使用後は洗眼してください。
- 保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。

詳しい使い方、登録内容は
こちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2019年11月現在の知見に基づき作成しています。